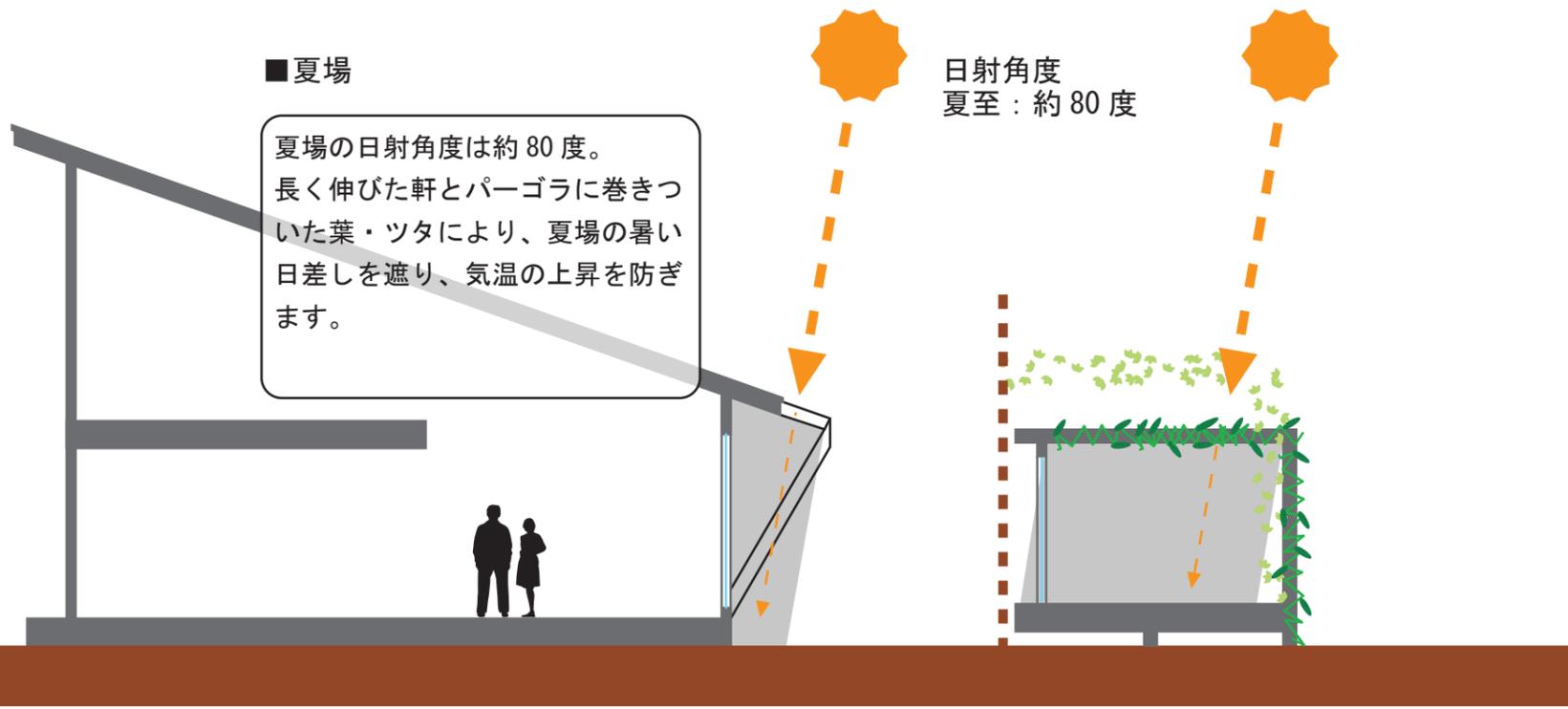


日射角度と蓄熱層の説明

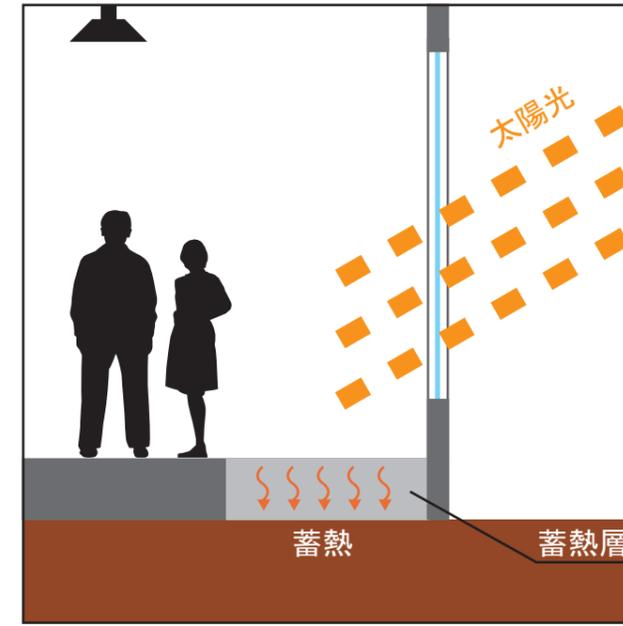
■夏場

夏場の日射角度は約 80 度。
長く伸びた軒とパーゴラに巻きつ
いた葉・ツタにより、夏場の暑い
日差しを遮り、気温の上昇を防ぎ
ます。

日射角度
夏至：約 80 度



■日中（冬場）

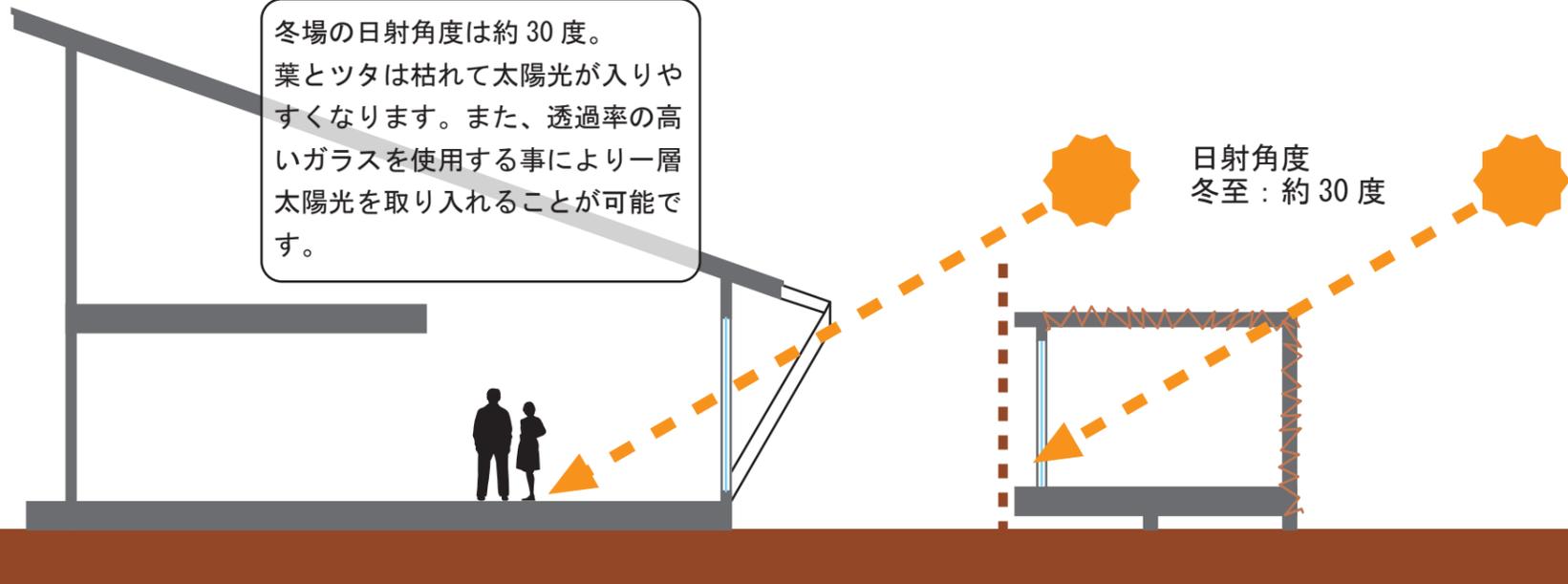


取り入れた太陽光が窓際に配置し
た蓄熱層に当たり、熱を蓄えます。
今回は、南面の窓際には完全に蓄
熱層を配置してます。

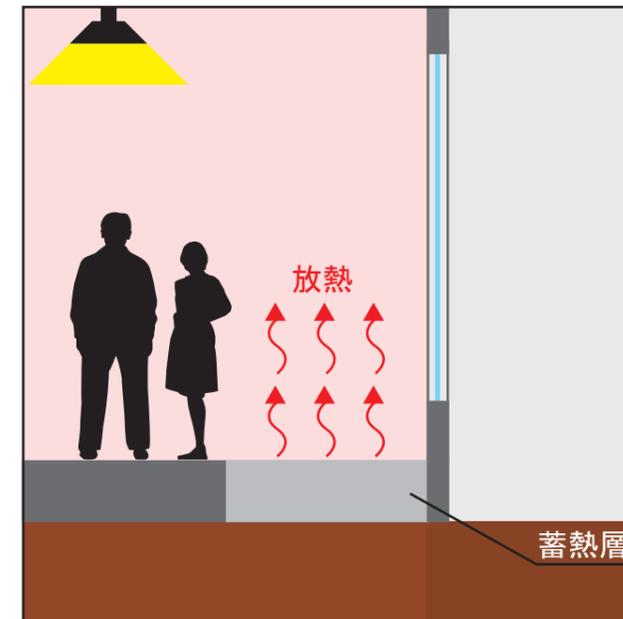
■冬場

冬場の日射角度は約 30 度。
葉とツタは枯れて太陽光が入りや
すくなります。また、透過率の高
いガラスを使用する事により一層
太陽光を取り入れることが可能で
す。

日射角度
冬至：約 30 度



■夜間（冬場）



夜間は蓄熱層に貯めていた熱を、
日が落ち室温が下がってきた室内
へ放熱させます。
この放熱により、少ないエネル
ギーで暖かい室温を保つことがで
きます。